

令和7年度 第1回精華町町民健康づくり推進協議会 議事摘録

■日時

令和7年11月12日（水）14時から15時30分まで

■場所

精華町役場 庁舎6階 審議会室

■出席委員

- ・石井 好二郎 会長
- ・山本 正來 副会長
- ・細川 暉子 委員
- ・岸田 秀樹 委員
- ・吉田 俊彦 委員
- ・本部 真理子 委員
- ・宮本 潤子 委員
- ・長島 香代子 委員
- ・堀口 紀代美 委員
- ・中戸 太郎 委員
- ・清水 泰律 委員
- ・岩井 一葉 委員

■欠席委員

- ・北 安代 委員
- ・大田 梨沙 委員
- ・上村 卓三 委員

■傍聴者

なし

■内容

1. 開会

2. あいさつ 健康福祉環境部長

澤田健康福祉環境部長

現在建設中の防災保健センターがいよいよ本年12月末に竣工し、準備期間を経て

令和8年度から本格的に稼働する運びとなりました。新しい保健センターは、防災と保健の両面から安心・安全・健康を支える拠点と位置付け、皆様にも幅広くご利用いただける場にしていきたいと考え、愛称の選定を実施しました。健康づくりは、行政だけでなく、地域や住民の皆様の力があつてこそ成り立つものであり、今後は防災保健センターを大いに活用しながら、より一層の健康づくりの推進を図ってまいりたいと考えております。

また、今年度は国及び京都府の方針を踏まえながら、将来のパンデミックの発生に備え、本町の新型インフルエンザ等対策行動計画の策定にも取り組んでおり、本日の議題の一つとして挙げております。その他、長寿・健康増進に向けた施策や今後の方針について、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局（健康推進課）

- 「精華町町民健康づくり推進協議会公開要領」第2条に基づき非開示とする場合を除いて原則公開となる。
- 会議要旨については、個人情報等公開すべきでないと思われる内容を除き、町のホームページ上で公表する。
- 会議録要旨については、同要領第4条に会議終了後、事務局において作成し、修正箇所等を委員の皆様に確認していただいた後で、公開する。

3. 委員紹介

4. 議事

（1）令和6年度健康増進計画進捗状況及び令和7年度新規事業等について

[資料3、4、5、6、7、8]

（2）防災保健センター愛称について [資料9]

事務局（健康推進課）

議事（1）～（2）について概要説明。

（3）精華町新型インフルエンザ等対策行動計画について [資料10、11]

事務局（危機管理室）

議事（3）について概要説明。新型インフルエンザ等対策行動計画の改定にあたり、有識者等の見解が必要であるため、本協議会にて意見聴取を実施。

（4）意見交換

石井会長

- ただ今、事務局より報告がありました議事（1）から（3）について、皆様からご

意見やご感想などをお願いします。

宮本委員

●集団健（検）診について、指定された受診日の都合が悪く、日時変更の連絡をしましたが希望日に空きがなく、予約不要の商業施設の駐車場での巡回検診を案内され、受診しました。しかし、当日は雨天の上、受診者多数で待ち時間も長く、受診に最適な環境ではありませんでした。希望日時を指定して申込受付をする方法を可能でしょうか。

事務局（健康推進課）

●過去に受診日の希望を聞く形式で申込受付をしたことがあります、希望日時が偏り、全ての方の希望に添うことが難しい状況であったため、案内後に日時変更を受け付ける現在の方法で実施しています。巡回検診については、今年度は例年以上の受診者となり、雨天の中、長時間お待たせすることとなりました。ご意見を踏まえ、受診しやすい方法を引き続き検討してまいります。

本部委員

●桜が丘地区では、役場等の集団健（検）診の会場まで遠いため、より近くで受診できる場所があればありがたいです。

●胃内視鏡検診について、内視鏡の挿入が苦痛で受診できない方がおられるため、麻酔の使用など受けやすい工夫をしてもらうことは可能でしょうか。

●健康ポイントについて、カード版とアプリ版の併用は可能でしょうか。

事務局（健康推進課）

●桜が丘地区の方が受診しやすい場所の調整についてですが、集団健（検）診においては、屋内及び駐車スペースに一定の広さが必要ですが、桜が丘地区では会場の確保が難しいという問題があります。特定健診の個別健診においては、桜が丘地区の医療機関や町外の山城南圏域の医療機関で受診が可能となっており、受診しやすい工夫に取組んでおります。

●胃内視鏡検診については、京都府と京都府医師会の整備した管外受診制度に則り実施しています。現状では、麻酔をしないというルールで実施されていますが、各市町村の実施状況や意見を踏まえ、定期的にルールの見直しがなされていますので、今回のご意見を京都府にも伝え、さらに受診しやすくなるよう努めます。

●健康ポイントについて、システム上はカード版とアプリ版の併用は可能ですが、近い将来、アプリ版に一本化することを想定しています。アプリの操作が難しい方に対する対応では、丁寧に操作法を説明対応することで、アプリ版への移行を進めてまいります。

石井会長

●計画の中で「ライフステージ」という用語が多く使用されていますが、生活の多様化により、ライフステージが明確でなくなってきており、最近は「ライフコース」という語を使用することが増えています。今後は、「ライフコース」の使用について検討してはいかがでしょうか。

事務局（健康推進課）

- 本計画策定時は「ライフステージ」という表現を用いましたが、今後は「ライフコース」という表現の使用について、検討してまいります。

岩井委員

- 昨年度から委員として本協議会に参加していますが、町で様々な取組をしていることを改めて知ることができました。

清水委員

- 精華町ふるさと案内人の会を主催し、定期的にウォーキングイベントを開催しています。参加者の多くは高齢者ですが、今年度は消防署内の探索や東畠地区の秋祭りの芋掘り体験など体験型の内容を組み込み、親子連れの参加が得られました。今後も若い世代の参加を募りたいと考えていますが、周知に苦慮しています。

事務局（健康推進課）

- 町としても子どもや子育て世代への運動の取組は必要だと考えており、母子保健事業でのチラシ配布など、子育て世代への周知への協力は可能です。

堀口委員

- 他の市町村では、帯状疱疹ワクチン接種が開始されたと聞いていますが、精華町での実施状況についてお伺いします。

事務局（健康推進課）

- 本町では、本年4月から帯状疱疹ワクチンの定期接種を開始しています。国の規定に則り、65歳から5歳間隔刻の年齢の対象者へ、個別に通知を送付しています。

本部委員

- 帯状疱疹にかかったことがある場合は、ワクチン接種は不要ですか。

岸田委員

- 過去に帯状疱疹にかかったことがある場合でも、接種は可能です。精華町の自己負担額は、他市町村に比べてかなり安価であるため、定期接種の対象となっている期間に接種することをお勧めします。

長島委員

- あすなろ会（精華町食生活改善推進員協議会）は現在28名で活動しています。先週、食生活改善推進員第9期生養成講座の第1回目が開催され、4名の方の参加がありました。次年度から新しいメンバーと活動できるのを楽しみにしています。

中戸委員

- 新型インフルエンザ等対策行動計画に関連して、発言します。新型コロナウイルス感染症により経済活動が停止した時期は、商工会としても大きなダメージを受けました。今後、新たな感染症が流行した際は、商工会の立場としても一緒に考えて対応していきたいと考えています。

細川委員

- 新型インフルエンザ等対策行動計画についてですが、専門的な用語の記載が多いため、用語集の記載を増やした方が良いと思います。（ワンヘルス、新感染症、プレ

パンデミック他)

- 同計画本文中の「情報提供・共有、リスクコミュニケーション」の「初動期」「対応期」(33~34ページ)について、繰り返しの記載内容が多いため、文言の重複部分については整理して記載した方がよいと思います。
- 同計画本文中の「町民生活及び町民経済の安定の確保」の「3-2-2 町による町民の生活及び町民経済の安定に関する措置」(51ページ)の項目について、水道に関する記載のみとなっていますが、他のライフラインについても記載が必要ではないかと感じました。
- 同計画は、今後、パブリックコメントの募集は行うのか、伺います。

事務局(危機管理室)

- 用語集については、細川委員のご意見を参考に、用語集の記載を増やして対応いたします。また、同じ文章が続く箇所については、記載方法を工夫したいと考えます。
- パブリックコメントについては、「精華町パブリックコメントの実施に関する指針」に則り、実施は想定しておりません。

岸田委員

- 新型コロナウイルス感染症の際は、精華町は京都府内においてかなり早期にワクチン接種を開始しました。これは、医師会、保健所、町及びその他関係機関の日頃から顔の見える関係づくりが迅速な対応につながったと考えています。今後も新たな感染症の発生時に医療逼迫に陥ることのないよう、協力しながら進めていただきたいと思います。また、担当職員が替わっても変わらず迅速に対応できるよう、ノウハウの継承をお願いします。

5. 次回会議日程

次回日程：令和8年2月19日(木)午後開始(予定)

6. 閉会

山本副会長よりあいさつ

在職中に事務仕事が多くなり、運動不足を解消するために精華町から橿原市まで毎日自転車で通勤していました。退職後の現在も、自転車での移動や健診受診等、日頃から健康でいられるよう心がけています。本協議会を通じて、町の健康づくりについて皆で知恵を出し合えたらと思います。